

京都芸術 センター 通信



MARCH
2020
VOL. 238

03

発行：京都芸術センター 2020年2月20日



京都芸術センター 20周年プレ企画

京舞 珠取海女

KAC Performing Arts Program 2019 / Traditional Performance

継ぐこと・伝えること

63「金剛流を魅せる」

京都芸術センターで行われている恒例の伝統芸能企画「継ぐこと・伝えること」。伝統芸能の現在に着目し、実演やトークなども交えながら、伝統芸能を紹介し、芸能の継承やその意義について考える機会の創出を目指しています。

今回は、金剛流「能」と井上流「京舞」を取り上げます。2000年3月に京都芸術センターが開館した

64「井上流を魅せる」

際に、金剛流・京舞それぞれの舞をご披露いただきました。そして、今年の3月に開館20周年を迎えるにあたって、プログラムのスタート地点でもある両芸能の現在に目を向け、これからを担っていく世代である金剛龍謹さんと、井上安寿子さんのお二人をお招きします。

両芸能に共通する物語『海人』を金剛流（舞囃子・仕舞）と京舞で取り上げ、それぞれ舞っていただきます。龍王に奪われた秘宝を取り戻すべく海に潜り、自らの命と引き替えに珠を取り返す名場面を、金剛流・京舞ではそれぞれどのように演じるのでしょうか。煽情的な展開を見せる『海人』のストーリーを堪能し、金剛龍謹さん・井上安寿子さんの舞をご覧ください。貴重な機会です。

また司会に、医療・哲学・芸術の3点から見た独自の身体論を構築する小林昌廣さん、トークゲストには、演劇作家・ドラマツルクの渡辺美帆子さん、振付家・ダンサーのきたまりさんをお招きし、現代演劇、舞踏、コンテンポラリーダンスの観点も踏まえつつ、金剛流の舞・京舞の動きに着目してトークを行います。両派の動きからどのように演技が生み出されるかに迫りながら、それぞれの流儀の魅力が現れる場になることを目指します。

華麗な舞を披露する金剛流と京舞。両芸能の動きからどのように演技の空間が立ち現れるのでしょうか。2公演セット券がおすすめです。両公演をぜひご覧ください！

加藤雅俊（アートコーディネーター）

Profile

金剛龍謹（こんごう・たつり）

1988年、二十六世宗家金剛永謹の長男として京都に生まれる。幼少より、父・金剛永謹、祖父・二世金剛巖に師事。5歳で仕舞『狸々』にて初舞台。自らの芸の研鑽を第一に舞台を動めながら、大学での講義や部活動の指導、各地の学校での巡回公演など学生への普及活動にも取り組む。2012年に発足した自身の演能会「龍門之会」をはじめとし、京都を中心に全国数多くの公演に出演。同志社大学文学部卒業。京都市立芸術大学非常勤講師。公益財団法人金剛能楽堂財団理事。

井上安寿子（いのうえ・やすこ）

1988年生まれ。父は能楽観世流九世観世鏡之丞、母は京舞井上流五世家元井上八千代。四世・五世井上八千代の阿師に師事。3歳で上方唄『七福神』で初舞台。2006年、17歳で井上流名取りとなる。2013年から舞踊公演「葉々の会」を主宰。京都市芸術新人賞（2015年）、第36回伝統文化ボーブ賞（2016年）、芸術選奨文部科学大臣新人賞（2019年）など多数の受賞歴がある。

京都芸術センター20周年プレ企画

KAC Performing Arts Program 2019 / Traditional Performance

継ぐこと・伝えること63「金剛流を魅せる」

日時：3月15日（日）開場13:30 開演14:00
出演：金剛龍謹（シテ方金剛流若宗家）
演目：舞囃子『海人』、仕舞『玉之段』
トークゲスト：渡辺美帆子（演劇作家、ドラマツルク）
司会：小林昌廣（情報科学芸術大学院大学教授）

継ぐこと・伝えること64「井上流を魅せる」

日時：3月20日（金・祝）開場13:30 開演14:00
出演：井上安寿子（京舞井上流）
演目：『珠取海女』
トークゲスト：きたまり（振付家、ダンサー）
司会：小林昌廣（情報科学芸術大学院大学教授）

料金：一般前売1,800円／当日2,000円

高校生以下500円（前売・当日共）

2公演セット券3,000円

※P2もご覧ください



EVENT CALENDAR 2020.03

各種イベント申込方法（別途記載のあるもの、共催事業、制作支援事業は除く）

催し名・住所・氏名・電話番号を添えて、ウェブサイト申込フォーム、TEL、FAXで事前にお申込ください。チケット窓口でも受け付けます。

※**㊦**印の公演は、京都芸術センター友の会のご招待券・ご優待割引対象公演です（制作支援事業は京都芸術センターチケット窓口取扱公演のみご優待。共催事業はご優待対象外）

その他、友の会特典詳細についてはウェブサイトをご覧ください。

※各種年齢別・学生料金は要証明書呈示

※**㊦**印の公演は、窓口にてチケット取扱

略称
日 …… 日時
場 …… 会場
席 …… 席主
出 …… 出演、出演
演 …… 演目、曲目
料 …… 料金
定 …… 定員
共 …… 共催
問 …… 問合せ
対 …… 対象
持 …… 持物

アイコン
美術 伝統 茶会 音楽 ダンス 演劇
トークイベント ライブラリー 明倫ワークショップ
（無料・初心者大歓迎！）
KACセレクション
（共催事業）

2/27 thu.
3/2 mon.
アーティスト・イン・レジデンスプログラム2019：
エクスチェンジ／Quartier am Hafen
フィリップ・ジャン・ドレバール「Rain in Kyoto」
オープンスタジオ
フィリップ・ジャン・ドレバール（ドイツ・ケルン）によるオープンスタジオ。京都滞在中に経験した雨の印象をもとに制作した2作品を展示します。
日2月27日（木）－3月2日（月）10:00－20:00 ※2月29日（土）は10:00－14:30、3月1日（日）は10:00－14:30／17:00－20:00のみ開場 ㊦講堂
出フィリップ・ジャン・ドレバール ㊦無料
【関連企画】アーティスト・トーク
日2月29日（土）13:00－14:00 ㊦講堂 ㊦無料 ※事前申込不要

2/29 sat.
3/1 sun.
KAC Performing Arts Program / Music
北爪裕道『粒子の踊り』～4つの音次元によるスペクタク
クル**友**㊦
器楽の生演奏や自動演奏ピアノ等を組み合わせた音楽公演。
日2月29日（土）15:00／19:00、3月1日（日）15:00 ㊦フリースペース
●作曲：北爪裕道 ㊦本堂誠（サクソフォン、ウィンドシンセサイザー）、石田湧次（パーカッション、電子マリンバ）、北爪裕道（アコースモニウム、鍵盤ハーモニカ ほか） ㊦一般前売2,500円／当日3,000円、U25 2000円（前売・当日共）
【関連企画】インスタレーション『粒子の踊り』
自動演奏楽器を実際に操作し、体験していただけます。
日2月28日（金）13:00－17:00 ㊦フリースペース ㊦無料 ※入退場自由

京都芸術センター20周年記念事業
てんとうむしプロジェクト06『つながりの方程式』
前田耕平とタオ・ファイ（陶輝）による展覧会。
日3月1日（日）－4月5日（日）10:00－20:00 ※会期中無休 ㊦ギャラ
リー北・南 ㊦前田耕平、タオ・ファイ（陶輝） ㊦無料 ※P4もご覧ください

劇団速度『舞台の実存とスクリーン、間にいるあなたの眼』**㊦**
Co-program2019 カテゴリーD採択企画。沈黙劇『破壊的なブルー』をセルフ・リメイクします。舞台における言葉、ひと、もののあり方を通じ、上演が共有されるプロセスに焦点を当てます。
日3月5日（木）14:00／19:00 ※プレビュー公演、6日（金）19:00、7日（土）14:00、8日（日）12:00／17:00 ㊦フリースペース ㊦一般前売3,000円／当日3,500円、学生2,500円（前売・当日共）、プレビュー公演1,800円 ㊦㊦劇団速度 E-mail：buken26@gmail.com ㊦京都芸術センター ●チケット取扱：京都芸術センター窓口、劇団速度 WEB：epische-theatre.tumblr.com/

reflection「仮面の告白」
㊦で使っていた布で仮面を作り、それをかぶって参加者同士で会話をし、そこから生まれる新しい言葉と動きを探ります。
日3月7日（土）14:00－17:00 ㊦制作室2 ㊦無料 ㊦10名 ㊦小学生以上 ㊦古着やハギレなど生活で使っていた布

セレノグラフィカ「春の身体のチャージ法1・2」
身体をゆっくりほぐしてリセットしてあげましょう。メニューの異なるチャージ法その1・2ですが1コマのみでも参加可です。
日3月8日（日）①10:30－12:00 ②13:30－15:00 ㊦制作室7 ㊦無料 ㊦8名 ㊦小学生以上 ㊦飲み物、タオル ※動きやすい服装でお越しください

JCDN『ダンスでいこう!! KYOTO Meeting』
Co-program2019 カテゴリーD採択企画。2019年度に全国10のプラットフォームが実施した振付育成プログラムの報告会と、ダンスミーティング、ワークショップ&ショーイング、セミナーを行います。
日3月9日（月）－15日（日） ㊦フリースペースほか ㊦ウェブサイト（dance-it-is.com/2019/）をご覧ください ㊦文化庁、NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCDN） ㊦京都芸術センター

連続講座「新内節を語る」
第3回「女流を語る」
日3月11日（水）19:00－20:30 ㊦和室「明倫」 ●講師：富士松菊子 ㊦20名 ●聞き手：新内志賀、細野桜子 ㊦無料 ※定員に達したため受付は終了しました ㊦㊦伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス TEL：075-255-9600

明倫レコード倶楽部「其ノ71」「住」の音楽**友**㊦
作家のいしいしんじ氏をお招きし、ご自身がもつ貴重なコレクションの中から「住」をテーマに、とっておきの曲目をお届けします。
日3月14日（土）15:00－17:00 ㊦講堂 ●講師：いしいしんじ ㊦500円（1ドリンク付）

京都フィロムジカ管弦楽団
『京都フィロムジカ管弦楽団 室内楽演奏会』
少人数の編成で室内楽演奏会を行います。客席から近距離で、いろいろな楽器の音色や奏者の表情などをお楽しみください！
日3月15日（日）11:00－12:00 ㊦制作室12 ㊦無料 ㊦20名

KAC Performing Arts Program 2019/Traditional Performance
継ぐこと・伝えること 63「金剛流を魅せる」**友**㊦
日3月15日（日）開場13:30 開演14:00 ㊦講堂 ㊦舞囃子『海人』、仕舞『玉之段』 ㊦金剛龍謹（シテ方金剛流若宗家） ほか、※P1もご覧ください

藝文京芸術教室 建築の話・京都の話
「ふたりの建築家が語る建築と京都のまち」
建築家のお話を通してまちなみや建物の楽しみ方を紹介します。
日3月15日（日）14:00－16:00 ㊦ミーティングルーム2 ●講師：衛藤照夫、魚谷繁礼 ㊦無料・要事前申込 ㊦20名 ㊦公益財団法人京都市芸術文化協会

KAC Performing Arts Program 2019/Traditional Performance
継ぐこと・伝えること 64「井上流を魅せる」**友**㊦
日3月20日（金・祝）開場13:30 開演14:00 ㊦講堂 ㊦京舞『珠取海女』 ㊦井上安寿子（京舞井上流） ※P1もご覧ください

PICK UP 明倫ワークショップ 20周年まつり

3/20 fri.
3/22 sun.
3月20日（金・祝）－22日（日）の3日間、制作室使用者のワークショップを集中して開催します。連続参加も大歓迎です！
㊦フリースペース ㊦無料（要事前申込）※演劇・ダンスのワークショップは飲み物・タオルを持参し、動きやすい服装でお越しください

3月20日（金・祝）

夕暮れ社 弱男ユニット「オリジナルフォークソングをつくってみよう」
つれづれに日々の思いをうたい、きく。ギターは弾けなくても大丈夫です。
日17:00－18:30 ㊦7名 ㊦中学生以上

広田ゆうみ＋二国大学「からだで本をよむ17」
宮沢賢治の童話を題材に、皆で小さな朗読劇のような作品をつくります。
日19:00－21:30 ㊦12名

3月21日（土）

烏丸ストロークロック「おとなとこどもの表現あそび」
伝言ゲームや絵本のひとコマをつかったり、わいわい楽しく遊びましょう！
日10:30－12:00 ㊦10名 ㊦3歳以上 ※動きやすい服装でお越しください

てんこもり堂「シェイクスピアを旅する11」
『ロミオとジュリエット』を繰り返し声に出し、その劇世界を味わいましょう。
日13:00－16:00 ㊦8名

三原聡一郎
「表現者の為のメディア表現ワークショップ vol.4 プログラミング」
LED点灯回路を用いたプログラムの導入ワークショップを行います。
日16:30－18:00 ㊦5名 ㊦小学校高学年以上、初心者歓迎 ㊦ノートパソコンがあるとなお良い

3月22日（日）

ウミ下着「あそびながらダンスをつくってみる」
遊びの延長のようにダンスを作ることにチャレンジしてみましょう！
日10:30－12:00 ㊦10名 ㊦小学生以上

トランク企画「インプロワークショップ “Yes”で遊んでみよう！」
イエスから始まるコラボレーションを遊んでみましょう！
日13:00－14:30 ㊦12名

中村クラゲ「言の葉を歩く11」
色々な言葉を「歩いて」みましょう。体はどのように変容するのでしょうか。
日15:00－18:00 ㊦8名

安住の地「日常のからだの声をきいてみよう」
起き上がる。歩く。座って、立ち上がる。日常の運動を体験します。
日3月26日（木）19:00－20:00 ㊦制作室6 ㊦無料 ㊦10名

KAC Performing Arts Program 2019 / Music
坂東祐大『感情の作られ方』**友**㊦
作曲家坂東祐大による新作音楽公演。
日3月28日（土）15:00／19:30、29日（日）16:00 ㊦講堂 ●作曲：坂東祐大 ㊦Ensemble FOVE〈多久潤一朗（フルート）、上野耕平（サクソフォン）、中川ヒデ鷹（ファゴット）、大家一将（パーカッション）〉、塗櫻（声）、有馬純寿（電子音響） ㊦一般前売2,500円／当日3,000円、U25 2,000円（前売・当日共）

図書室休室日：3月31日（火）

制作支援事業

（制作室使用者による公演・展覧会）

セレノグラフィカ コンテンポ太夫 新作公演
『たとへ火の中、水の底 ～壺坂観音霊験記より～』
ダンスと義太夫とコントラバスの作品。テキストは「壺坂観音霊験記」。
日2月29日（土）開場14:30 開演15:00 ㊦あわぎんホール（徳島県立郷土文化会館） ㊦一般1,000円、学生500円 ㊦あわぎんホール TEL：088-622-8121 WEB：www.kyoubun.or.jp/

トランク企画 スイッチvol.3『似合う』
ダンサー・アコーディオン奏者・俳優の3人が、即興で楽しく物語をお届けします。
日3月5日（木）19:00 ㊦UrBANGUILD（中京区） ㊦一般前売1,500円／当

日2,000円＋1ドリンク ㊦トランク企画 TEL：090-5964-2210 E-mail：trunkkikaku@yahoo.co.jp WEB：trunkkikaku.jimdo.com

若だんさんと御いんきょさん 安部公房作『鞆』
同じ戯曲を3人の演出家が創作。演出違い3本立てです。
日3月6日（金）19:00、7日（土）14:00／18:00、8日（日）13:00／17:00 ※受付開始は開演30分前、開場は開演20分前 ㊦THEATRE E9 KYOTO（南区）
㊦一般前売3,000円／当日3,300円、学生1,500円（前売のみ） ㊦若旦那家康 TEL：090-9237-4609 E-mail：k.rocket.m@gmail.com WEB：waka5inkyo.blogspot.com

トイネスト・パーク Seventh Parade『Mermaid Queen』
主役の人魚姫にドラッグクイーンを据えた、キュートなバーレスク。
日3月13日（金）、14日（土）13:30／18:30、15日（日）14:00 ㊦人間座スタジオ（左京区） ㊦一般前売2,800円／当日3,000円、学生1,500円（前売のみ） ㊦トイネスト・パーク TEL：080-2432-5415（イワキ） E-mail：toynest.park@gmail.com WEB：toynestpark.wixsite.com/website

トリコ・A演劇公演ワークインプログレス『へそで、嗅ぐ』
障害のある人に取材し、障害者と共に立ち上げるリーディング公演。
日3月14日（土）14:00 ㊦茨木市市民総合センター（クリエイトセンター） 多目的ホール ㊦1,000円 ㊦TEL：072-625-3055（公益財団法人茨木市文化振興財団） E-mail：toriko.a@stamp-llc.com WEB：www.ibabun.jp/event/20200313/

kiyamania vol.7『日常を切り取る』
日常の道具を手にし空間に身を置くダンサーによるインスタレーション。
日4月3日（金）、4日（土）13:00 ㊦人間座スタジオ（左京区） ㊦2,000円 ㊦kiyamania TEL：090-8531-0843（キヤマ） E-mail：reikokiyama1@gmail.com WEB：nichijou-kiritoru.amebaownd.com/

TICKET

〔チケット〕

第257回 市民狂言会

日3月6日（金）開場18:30 開演19:00 ㊦京都観世会館（左京区） ㊦岡太夫、土筆、魚説経、仁王 ㊦茂山あきら、千三郎、千五郎 ほか ㊦前売2,500円／当日3,000円 ●チケット取扱：京都芸術センター、大丸京都店、チケットぴあ（Pコード：499-084） ほか ※団体券2,200円（20名以上）は京都芸術センターにて取扱 ㊦京都市

OPEN CALL

〔募集〕

トラディショナル・シアター・トレーニング（T.T.T.）2020 受講生募集
舞台芸術に携わる方を対象とした、3週間の伝統芸能集中トレーニングです。
●期間：7月11日（土）－8月2日（日） ●応募条件：演劇・ダンスなど、舞台芸術に関わる表現活動もしくは研究活動を行っている方。原則として、オリエンテーションから発表会までのすべてのスケジュールに参加できる方。伝統芸能を積極的に学ぶ意欲のある方。国籍・年齢・性別は不問 ㊦24名（能・狂言・日本舞踊 各コース8名程度） ●受講料：一般 90,000円／学生・リピーター割引 75,000円 ●締切：3月20日（金・祝）〔必着〕 ※随時選考を行い、応募者全員にメールで通知。定員に達し次第締切日を持たず受付を終了する場合があります。 ㊦㊦京都芸術センター E-mail：t.t.t@kac.or.jp

第42期制作室使用者募集

若手芸術家の活発な創作活動を支援するため、造形及び舞台・音楽作品の制作を行う「制作室」（全12室）を提供します。
●使用期間：2020年10月1日（木）－2021年3月31日（水） ●条件：1申請につき使用期間は最大3ヶ月、制作した作品を京都芸術センター以外の場で発表する具体的な計画があることなど ●選考方法：専門家等で構成する委員会にて審査を行います。審査結果に基づき、京都芸術センターで、使用する日時・制作室を調整します。 ●応募方法：京都芸術センターウェブサイト（http://www.kac.or.jp/program/21908/）の募集要項をよく読み、応募書類をメールにて提出してください ●締切：3月31日（火）23:59まで ㊦京都芸術センター制作室担当 E-mail：studio@kac.or.jp

京都国際ダンスワークショップフェスティバル2020 受講者募集
国際的に活躍する振付家、ダンサーらを講師として招聘。ビギナーからプロのダンサーまで様々なレベルのクラスを設けたワークショップ、受講者以外にもオープンなプログラムを開催します。
日4月17日（金）－5月6日（水・祝） ㊦講堂 ほか ※各クラスの詳細と日程、料金、申込方法については、京都芸術センターのウェブサイトをご覧ください ㊦京都芸術センター、一般社団法人ダンスアンドエンゲヴァイメント

前田耕平、タオ・フィ(陶輝)

展覧会『つながりの方程式』

京都芸術センター20周年記念事業の第一弾として、2人の作家、前田耕平とタオ・フィ(陶輝)による展覧会『つながりの方程式』を開催します。

本展の企画にあたり、京都芸術センターがこの10年間に実施した展覧会の中で印象に残ったものについてボランティアスタッフに意見を求めました。最も回答が多かったのが「東アジア文化都市2017京都『アジア回廊現代美術展』」という結果でした。このことが示唆するように、この20年は社会的にも文化的にも「アジア」に多くの関心が集まる20年でした。本展では、東アジアの作家2人を通して、情報とヒトの往来の中で表現される多角的な視点を捉えることを目指します。

記憶や経験とイメージとの間に着目し、多様な手法で作品を制作する両作家に、本展での展示作品についてお話を伺いました。

今回、前田耕平は様々な都市の人たちの愛の声を採集し、その形を探ろうとする「Love Noise」プロジェクトの京都バージョンに取組みます。作品制作にあたり、100名を超える一般の参加者と共に「愛」についてのパフォーマンスを実施しました。

——パフォーマンスをする前はどんな気持ちでしたか？

前田：この半年、「Love Noise」プロジェクトを通して人と出会い、話し、参加者を募ってきました。パフォーマンスを前に不安と期待が高まる中、とあるCMの「あんた、そこに愛はあるのか？」と言う大地真央の顔が浮かんできたのです。

——パフォーマンスを終えてどうでしたか？

前田：パフォーマンスでの、参加者たちの“声”の扱い方

は多様で、興味深いものでした。声＝voiceの語源は“呼ぶ”ことにあるらしく、会場で愛の声を出す人々は確かに、何かを呼んでいるようにも見えたのでした。

パフォーマンスを通して改めて自身のプロジェクトと向き合っているという彼のプロジェクトは、我々の前にどんな形となって立ち現れるのでしょうか。

タオ・フィは本展で《Hello, Finale!》を展示します。これは2017年にA4 ART MUSEUM(成都市・中国)との連携プログラムで、京都芸術センターに滞在した2ヶ月の間にシナリオを書き、ロケハン、俳優オーディション、撮影をして、帰国後に発表された作品です。“何らかの終わり”が予感される電話での独白による9つのシーンで構成されています。これまで規模の大きなクルーで撮影を行ってきたタオ・フィが少人数で挑んだ本作の撮影現場は、自由度の高い挑戦の機会となったのではないのでしょうか。

——京都で滞在制作した作品を2年後の今、京都で展示することになりますが、どのような気持ちですか？

タオ：帰郷という感じです。この作品は京都で生まれて既にいくつかの都市で展示していますが、日本では実は今回が初めて。展示できることが嬉しいですし、日本の方にこの作品がどのように受け取られるのか楽しみです。

——9つの映像の中で特に印象深いシーンはありますか？

タオ：どの映像も独自のストーリーをもって撮影したのですが、最も記憶に残っているのは、モンキーパークで撮ったシーンです。撮影部隊と長い時間かけて山に登り、そこにいた猿の群れが静かになるのをじっと待っていた時間は忘れがたいですね。

一人ひとり、一つひとつの「終結」や「愛」の物語の続きは？ その行方は鑑賞者にゆだねられています。記憶とイメージの間を往来する連想ゲームの中で、自分なりの解を探しに来てください。

相手のことを画像とプロフィールだけを手掛かりにつながついている状況で、両作家はお互いに会いたがっています。対面したとき2人は何を感じるのでしょうか。早く対面してほしいです！

水野慎子(アートコーディネーター)



タオ・フィ《Hello, Finale!》2017
courtesy of Tao Hui, Eduard Malingue Gallery and Esther Schipper

Profile

タオ・フィ(陶輝)

1987年雲陽県(中国)生まれ、北京在住。四川美術学院修了。1980年代の中国での急激なテレビ普及の時代に、山村で生まれ育ったタオは、都市と農村をつなぐツールとしてのテレビに興味を持つ。大衆文化やアイデンティティをテーマに、記憶や伝説、巷話と現実の世界を織り交ぜた作品を発表している。《Hello, Finale!》でHUGO BOSSアジア・アートアワード2017のファイナリストに選出される。



前田耕平(まえだ・こうへい)

1991年和歌山県生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科構想設計専攻修了。人や自然、物事との関係や距離に興味を向け、自身の体験を手がかりに、映像やパフォーマンスなど様々なアプローチによる探求の旅を続けている。近年の活動に、南方熊楠の哲学思想を追った「まんだらぼ」プロジェクトや、タイにナマズを探しに行く「パンガシアノン ギガス」などがある。六甲ミーツ・アート芸術散歩2019にて神戸市長賞を受賞。



京都芸術センター20周年記念事業

てんとうむしプロジェクト06

『つながりの方程式』

日時：3月1日(日)～4月5日(日)

10:00～20:00 ※会期中無休

会場：ギャラリー北・南

出展作家：タオ・フィ(陶輝)、前田耕平

主催：京都芸術センター

【関連企画】アーティスト・トーク

日時：3月1日(日)13:00～14:00

会場：和室「明倫」

料金：無料(申込不要)



前田耕平 シンドニーでのパフォーマンスの様子 2019 撮影：呉屋直



京都芸術センターは、
2020年4月に開設20周年を迎えます。

テーマは“We Age”
(ウィー・エイジ)

(ロゴデザイン：松本久木)



各イベントの詳細・最新情報はウェブサイトでご確認いただけます。

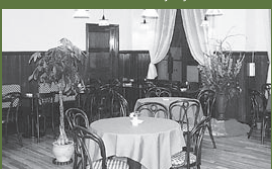
公式ウェブサイト | <http://www.kac.or.jp>

 [kyotoartcenter](https://www.facebook.com/kyotoartcenter) |  [@Kyoto_artcenter](https://twitter.com/Kyoto_artcenter)

Since 1971

MAEDA'S COFFEE

KYOTO ART CENTER 1F
MUROMACHI, TAKOYAKUSHI
NAKAGYOKU, KYOTO
TEL:075-221-2224
10:00～21:30 everyday





京都芸術センター叢書 二
「伝統芸能ことはじめ」

小林昌廣 著 定価 3,456円(税込)

京都芸術センター窓口、もしくは
下記ウェブサイトよりご注文いただけます。
<http://www.kac.or.jp/shop/>

京都芸術センター KYOTO ART CENTER

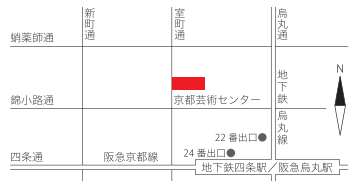
交通案内

- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅／阪急京都線「烏丸」駅
22番出口・24番出口より徒歩5分。
- 市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間

- ギャラリー・図書室
情報コーナー・チケット窓口 10:00～20:00
- カフェ 10:00～21:30
- 制作室、事務室 10:00～22:00

休館日 12月28日から1月4日
※設備点検のため臨時休館することがあります



〒604-8156 京都市中京区室町通錦薬師下る山伏山町546-2
TEL: 075-213-1000 FAX: 075-213-1004
E-mail: info@kac.or.jp
指定管理者：公益財団法人京都市芸術文化協会